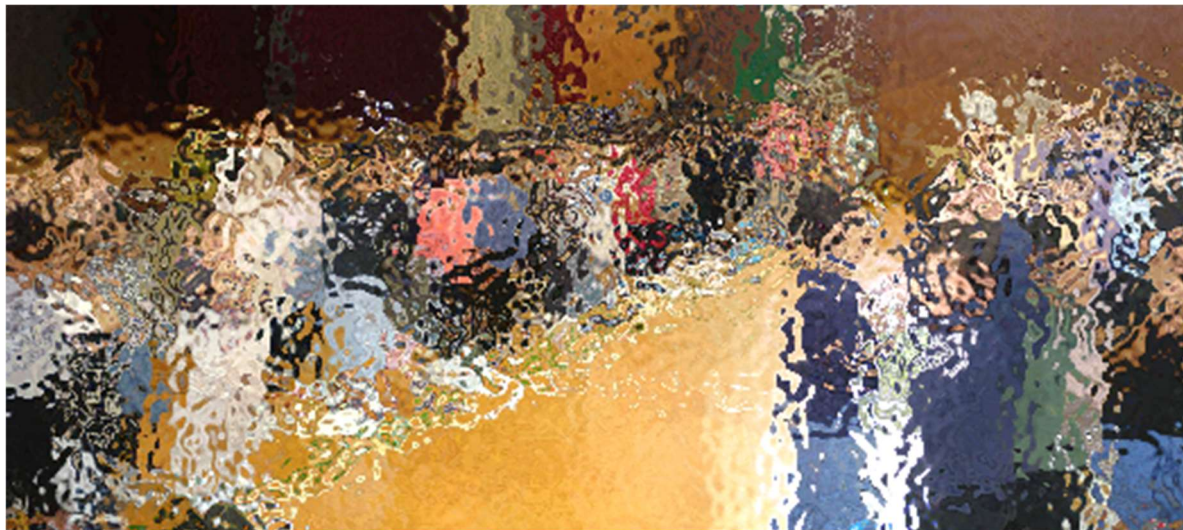


(家庭数配布)



1年生を迎える会

4月30日、1年生を迎える会がありました。1年生が体育館の前の方に並び、2年生以上との初めての対面です。ここでは、運営委員会の主催で「〇×クイズ」を一緒に楽しみました。



〇×クイズの風景です



運営委員が進行をします。

実はこの「1年生を迎える会」、運動会以外では全校で集まるのが数年ぶりなのです。(コロナの影響です。)でも、やはりお互いの顔を直に見る

◇ジュニア救命講習がありました！

1年生を迎える会と同じ日、6年生を対象としてジュニア救命講習が行われました。万が一に備えて、子どもたちも訓練をしておこうというのが目的です。



6年生の皆さん、真剣に説明を聞き、心肺蘇生法も黙々と練習していました。

消防署の方からも、「子どもたちが一生懸命にやってくれるので、やりがいがあります。」と褒めていただきました。

しっかり練習しておくぞ！

ちなみに、「ライブ119」をご存知ですか？スマホから119番に電話をかけると、そのスマホにURLが送られてきて、それをタップすると、そのスマホで撮影している動画が消防署でも確認してもらえ、消防署の方からリアルタイムによりの確な指示を仰げるというものです。知っておいても損ではないですね。

◇校長のつぶやきコーナー「大切な人とは？」

「自分にとって大切な人」とはどんな人でしょうか？「やさしくしてくれる人」「困った時に助けてくれる人」「良いことを教えてくれる人」、様々あると思います。一方、大人でも子どもでもそうですが、誰にでも「自分と考え方が違う人」「性が合わない人」「はっきり言って嫌いな人」もいるでしょう。このような人は、なかなか「自分にとって大切な人」とは思いにくいものです。しかし、次のように考えてみるのはいかがでしょうか。「この人は、人としてやってはいけないことを、身をもって教えてくれている。」や、「合わない人とどうすればうまくやっていけるかの訓練をさせてくれている。」などです。私は少し厳しいことを要求していることになるかもしれませんが、ただ、仮にこのように考えることができれば、一見「自分にとって大切ではない人」が「自分にとって大切な人」にも見えてはきませんか？そうすると、「自分の周りにはいる人は、実はみんな自分にとって大切な人」になり、「嫌いな人」と会う時も、思わず笑顔がこぼれてくるような気がします。(相手からは「何やねん、こいつ。」と思われるでしょうが…。)

「人として生きている」、これって稀有なことなんです。同じ生きるなら楽しく生きていきたいですね。